

2025 年 10 月 29 日

各 位

株 式 会 社 オ ー ケ ー ウ ェ ブ
代 表 取 締 役 社 長 杉 浦 元
(コード番号：3808 名証ネクスト)
問 い 合 せ 先 経 営 管 理 担 当 執 行 役 員 岡 本 敦 哉
電 話 番 号 03-6823-4306

abc株式会社との包括的システム開発支援委託契約締結のお知らせ

当社は、昨日開催の取締役会において、以下のとおり、資本業務提携先であるabc株式会社（以下「abc社」といいます。証券コード：8783）とのシステム開発に関する包括的な開発業務を委託することを決議し、本日契約締結をいたしましたので、お知らせいたします。

なお、本件は適時開示基準には該当しませんが、有用な情報と判断し任意開示を行うものです。

記

1. システム開発業務の委託の概要

当社が運営するサービスの開発・改修業務全般に関して、全社的な技術基盤強化に加えて、Web3.0 領域における新規事業創出、ならびに既存サービスの価値再定義を目的とした包括的な開発支援を、資本業務提携先である abc 社へ委託します。なお、本取り組みは、2025 年 4 月 17 日付開示「資本業務提携契約の締結、第三者割当による新株式及び第 24 回新株予約権の発行並びに買取契約の締結に関するお知らせ」にて記載のとおり、abc 社との資本業務提携に基づき実行フェーズに移行したものであり、当社と abc 社の中長期の経営戦略に連動した構造改革プロジェクト（以下「本プロジェクト」といいます。）として進行します。また、当社は 2025 年 8 月 14 日付開示「中期経営計画説明資料」に記載のとおり、当社サービスの進化の方向として、「互助」のインフラを AI・Web3.0 テクノロジーを活用し構造化・制度化・拡張することで、持続可能な「共助」のインフラへと進化させることを目指しており、本プロジェクトはその取り組みの中心を担うものとなります。

2. 本プロジェクトの内容

本プロジェクトは、2025 年 10 月～2026 年 2 月にかけて、下記 4 つの主要領域において段階的に推進されます。

- SaaS 型感謝プラットフォーム（GRATICA）の再活性化
 - － 顧客継続率の向上を目的とした UX/UI 再設計と機能追加
 - － 法人向けサンクスカード事業の再定義と価値向上
- Web3.0 をベースにした新規事業（当社と abc 社との共同事業を含む）の開発
 - － トークン設計、Solana 連携、DAO 準備など Web3.0 基盤の構築

- 感謝経済の Web3.0 モデル移行に向けた設計・開発支援
- Q&A コミュニティ「OKWAVE」の基盤刷新と再構築
 - レガシーシステムからのリニューアル
 - Web3.0 ユーザー体験への転換に向けた基盤整備
- 全社横断の技術負債・セキュリティリスク解消
 - 横断的な脆弱性診断とリファクタリング対応
 - 今後の開発投資最適化に向けた技術基盤の標準化

具体的には、①技術負債を解消し、他の開発案件の効率を向上させ、プロジェクト全体の成功確率を高めてまいります。②サンクスカードサービス「GRATICA」の、これまでの開発体制の不足を補い、機能追加等を進めます。③Q&A コミュニティ「OKWAVE」においては、SNS 機能強化、インセンティブ設計を行い、課題となっているセッション数・広告収益の減少を解消し、ユーザー活性化を狙います。④Web3.0×感謝経済のブロックチェーン技術を活用した新規事業を開発します。

開発期間は 2026 年 2 月末までの約 4 か月間とし、総額 4,968 万円（税抜）を当社から abc 社へ開発業務の委託費として、契約締結日の翌日に支払う予定です。

なお、本取引の条件は通常の商取引の範囲内であります。

3. 今後の展望と事業的意義

本プロジェクトは、当社が掲げる「世界中のありがとうの物語を蓄積し可視化する」というパーパスに基づいた「感謝経済」の理念と、Web3.0 技術が持つ自律分散型の経済構造の可能性を融合するものを目指すものであり、単なる IT 開発や機能改善にとどまらず、「価値の再構築」と「仕組みの刷新」を同時に目指す、最初の取り組みと位置付けております。

当社及び abc 社では本件を、“感謝”という非金銭的価値を可視化・流通させる Web3.0 型社会実装プロジェクトの入り口として捉えており、分散型台帳技術や、将来的にはトークンエコノミクスを活用することで、従来の Web2.0 アーキテクチャでは実現しきれなかった価値循環型のインフラ構築を志向しています。

今後の展開においては、以下のような中長期の構想を検討しており、金融商品取引法や資金決済法等各種法令の整備状況と、社会環境の変化を踏まえながら、abc 社との資本業務提携の枠組みでの取り組みを引き続き進めるほか、既存事業との統合的なシナジー創出を目指してまいります。

- Q&A コミュニティ「OKWAVE」の DAO 化（「互助」から「共助」プラットフォームへ）
- ミーム型暗号資産をはじめとした、各種トークンとの相互連携
- 「サンクスポイント」を中心としたインセンティブ設計の検討
- 貢献履歴に基づいた「人間性」の可視化

これらの構想を段階的に実装していくことで、当社は AI 時代における、人間性とテクノロジーを融合した「Web4.0 の探求」を行ってまいります。

4. 日程

(1)	取締役会決議日	2025年10月28日
(2)	契約締結日	2025年10月29日
(3)	支払日	2025年10月30日(予定)

5. 今後の見通し

当該事業の開始は中長期的に当社の事業規模拡大及び業績向上に寄与するものと考えておりますが、当社の2026年6月期連結業績への影響については現在精査中であり、開示すべき事項が発生した場合は速やかにお知らせいたします。

以 上